



お取引先の皆様とともに

コニカミノルタは、原材料や部品などの資材の調達や生産委託をお願いするお取引先の皆様を、“事業活動に不可欠なパートナー”と考えています。パートナーの皆様とともに「世界中のお客様に、優れた製品やサービスをタイムリーに提供する」という共通の目的に取り組むため、透明で公正な取引を通じた信頼関係の構築に努めています。また、グローバル企業として社会からの信頼を獲得するためには、自社のみならず、サプライチェーンにおけるCSRの推進が不可欠です。そのためコニカミノルタは、お取引先に対しても人権、労働、環境に配慮した事業活動を要請する「CSR調達」を、グループ全体で推進しています。



2012年度の活動実績

■ お取引先とグループ生産拠点に対する、2009年度から2011年度の診断結果を検証しました。また、CSR調達を品質マネジメントシステムISO9001のお取引先評価に組み込みました。▼P32

■ 紛争鉱物規制に対応する推進体制を構築しました。▼P32

<グループ生産拠点>
CSR調達診断結果
ランクAを検証

全36拠点

<お取引先>
CSR調達診断結果
目標未達

17社 ▶ 7社
(2011年度末累計) (2012年度末累計)

コニカミノルタ調達方針(抜粋)

私たちコニカミノルタグループは「新しい価値の創造」の経営理念のもと、社会の発展に寄与する革新的な製品・サービスを創出し、お客様の満足を追求します。

調達活動においては透明・公正を基本としてお取引先と強いパートナーシップを築き、ともに社会的責任を果たすことにより、持続可能な社会の実現を目指します。

- OPEN** 私たちは、常に透明で信頼される姿勢でお取引先と接し、長期的かつグローバルな視点から目標の共有化ができる開かれた調達を実践します。
- FAIR** 私たちは、自由競争の原則のもと、合理的な評価尺度に基づき取引を行うものとし、お取引先との相互利益を追求します。
- GLOBAL** 私たちは、グローバルな視点から最適な地域での調達を実践します。
- COMPLIANCE** 私たちは、各種法令、企業倫理、社内規則類を遵守します。
- ECOLOGY** 私たちは、地球環境の保全、生態系への影響低減に率先垂範して努めることにより、国際・地域社会へ貢献します。

お取引先へのお願い

お取引先と強いパートナーシップのもと、お客様の満足を追求し、合わせて社会的責任を果たすため、お取引先の皆様には以下の項目への取り組みをお願いします。

1. 優良な品質
2. 適正価格
3. 需要変動への対応
4. 法令、企業倫理の遵守
5. 環境保全への対応
6. 労働者の人権の尊重
7. 安全衛生
8. 情報セキュリティ
9. 安定した経営基盤



コニカミノルタについて > CSR(社会・環境活動) > CSRの取り組み > お取引先の皆様とともに

サプライチェーンにおけるCSRの推進

お取引先との課題共有による改善

情報機器事業では、お客様満足最大化を目指して、お取引先とコニカミノルタが相互に事業環境の改善を進めていく、「調達コラボレーションシステム」を推進しています。これは、品質、納期、生産性、環境、経営管理側面の総合的な改善に向けて、お取引先との対話や訪問を通じて課題を共有し、その解決のために必要な提案や具体的な支援を行う取り組みです。コニカミノルタ自身も、お取引先からのご指摘を受けて、取引上の問題点を改善しています。

事例1 中国での「お取引先説明会」の実施

「調達コラボレーションシステム」の一環として、毎年定期的に、中国での合同説明会を実施しています。2013年3月に開催した説明会は、2013年4月の経営体制再編の最も重要な目的である「情報機器事業の経営力強化」について、お取引先各社のトップ層に直接伝える機会となりました。また、中期重点戦略や次年度以降の調達計画、さらにコニカミノルタとお取引先が共同で進める改善取り組みについて共有化しました。また、今後対応を進めていく「紛争鉱物規制」について、その概要と当社の考え方についての説明を行いました。

参加社数は、華東地区147社、華南地区123社にのぼり、有意義なコミュニケーションの場となりました。



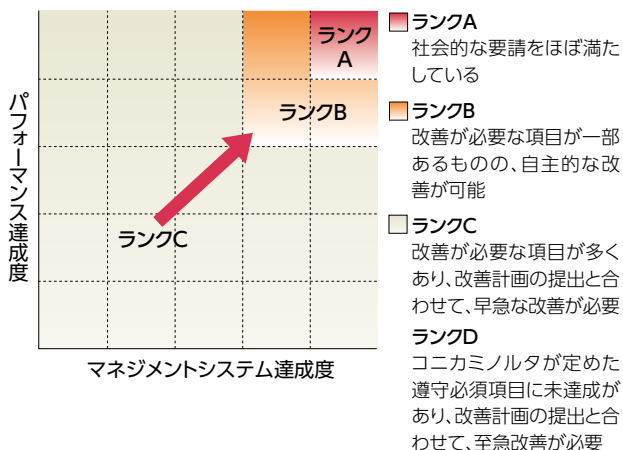
CSR調達の推進基盤の整備

コニカミノルタは、サプライチェーンにおける基本的人権の尊重、労働環境の改善などを行う「CSR調達」を推進しています。資材を調達しているお取引先の皆様にCSR活動を要請するとともに、その推進状況を把握し、必要に応じて改善要請や助言を行っています。また、グループ生産拠点においては、より厳しい基準を設けて診断と改善を実施しています。

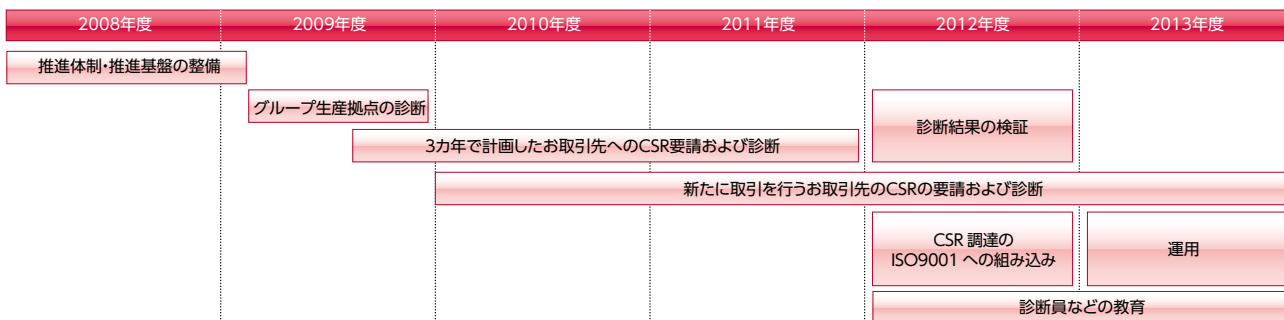
こうした取り組みの基盤として、CSR調達の対象分野と基準を示した「行動規範※」を策定するとともに、「自己診断アンケート※」を使った診断法を構築し、展開しています。診断結果は達成度に応じて、A～Dの4段階にランク分けし、グループ生産拠点はランクA、お取引先はランクB以上を目標としています。目標未達の場合は、改善計画の提出のもと、改善を行うこととしています。

※ 行動規範・自己診断アンケートは、EICC(Electronic Industry Citizenship Coalition)に準拠しています

達成度に応じたランク分け



CSR調達の推進ステップ



CSR調達の展開

お取引先とグループ生産拠点を対象としたCSR推進状況の診断を、自己診断アンケートを用いて、2009～2011年度の3カ年計画で実施しました。

2012年度は、3カ年の診断結果の検証および新規のお取引先の診断を行うとともに、生産委託先まで対象を拡大して診断を実施しました。主要36拠点すべてでランクAを達成しているグループ生産拠点では、検証の結果、ランクAの維持を確認しました。お取引先については、2012年度末時点で累計622社を診断しています。目標未達ランクのお取引先は、2011年度末累計で17社に対して、2012年度末累計では7社になりました。また、グループで継続的に取り組むため、CSR調達の運用ルールを品質マネジメントシステムISO9001のお取引先評価に組み込んでいます。2012年度にはほとんどの事業部門での組み込みを完了しました。2013年度には全事業部門で完了し、その運用を進める予定です。

さらに、2012年度にはCSR調達を推進するために不可欠な診断員の教育を、中国関係会社2社、国内の5カ所で行い、29名が受講しました。2013年度も関係者への教育を展開していく予定です。

Column

人権の尊重に関する啓発活動

ビジネスにおける人権の尊重について、グループ従業員の理解を深めるため、イントラネットを利用した啓発を継続しています。2012年度は、人権に関連するさまざまなテーマ——紛争鉱物規制、ILO(国際労働機関)の中核8条約、サプライチェーンで求められる企業の責任、国際的に合意された行動規範などについて、具体的な企業の実例を交え、7回にわたって解説記事を連載しました。



解説記事

紛争鉱物規制への対応

コンゴ民主共和国およびその周辺国における紛争と、これにともなう重大な人権侵害、環境破壊が国際的に大きな問題となっています。この地域におけるタンタル、タングステン、金、スズの鉱物資源採掘は、武装勢力の資金源となり、紛争を助長している可能性が懸念されています(以下「紛争鉱物」という)。この国際的な問題を解決するため、2010年に米国金融規制改革法1502条が制定され、また、経済協力開発機構(OECD)から「紛争鉱物デューデリジエンス・ガイダンス」が発行され、企業にサプライチェーンでの責任ある取り組みが強く要請されています。

コニカミノルタはかねてより、調達活動において社会的責任を果たすために「法令、企業倫理の遵守」「労働者の人権の尊重」「環境保全への対応」などを含む調達方針を定め、サプライチェーンにわたる活動に取り組んできました。紛争鉱物規制への対応についても、この調達方針に基づき、規制の目的である人権侵害への加担防止に向けた取り組みを進めています。

2012年度は、営業・調達部門などをメンバーとするグループ横断の推進体制を構築しました。2013年度は、取り組みを具体化するために、マネジメントシステムの構築、関係者への教育などを進める予定です。また、電子情報技術産業協会(JEITA)の責任ある鉱物調達検討会に協力して、調査方法の確立などについて検討を進めていきます。